

令和5年3月31日

大東市長 東坂 浩一 様

大東市総合計画・総合戦略審議会  
会 長 三 吉 修

「幸せデザイン 大東（第5次大東市総合計画および第2期大東市  
まち・ひと・しごと創生総合戦略）」の進捗の検証について（答申）（案）

令和5年2月22日付け大東戦略企第493号で諮問のありました「幸せデザイン 大東（第5次大東市総合計画および第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略）」の進捗の検証にかかる諮問について、当審議会として慎重に審議を重ねた結果、下記のとおり答申します。

## 記

審議過程で各委員から出された主な意見を次のとおり整理し、提出するので、参考として十分検討し、活用されるように配慮されたい。

### 1. 第5次大東市総合計画の検証にかかる意見

- (1) 現行の市の制度や取組、魅力とあわせて、これまでの取組の成果やこれからのビジョンなど、大東のポジティブな情報を市内外に積極的に発信することで、満足度や期待度、知名度等の向上を図ること。
- (2) 全ての市民に必要な情報が行き届くよう、市民と行政との接点を増やすような情報拡散方法を検討するとともに、縦割り意識を排除し、庁内各部署間や市内各地域、関係機関との連携によって、施策の質や発信力を相乗的に向上させること。
- (3) 若年者の関心が高い社会課題に市が積極的に取り組むことで、若い世代の定住・交流人口の増加を図ること。
- (4) アンケートの実施においては、その後の施策につなげるためにも具体的意見が収集できるよう工夫をすること。また、年齢層によって関心の対象が異なることから、アンケート方法や分析にも工夫を加えること。

- (5) 短期的視点及び中長期的視点から課題設定を行い、戦略・戦術・作戦を立てるとともに、適切な工程管理のもと取組を進めること。
- (6) 大東の特性や魅力について知る機会を提供し、まちへの愛着を高め、まちの担い手となる人材を育成すること。

## 2. 第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略にかかる意見

### [重点項目1：危機管理の徹底]

- (1) 発災時に懸念される事態への備えなど、平時から防災に向けた対策や意識を高める取組を、特に若年者層に向けて推進すること。
- (2) デジタルを活用した防災体制の強化と、自助・共助・公助の観点や各種団体との連携による防災力の向上を図ること。
- (3) 大東水害の経験を経て、水害対策に徹底的に取り組み、安心を構築していることも大東の魅力として発信していくこと。

### [重点項目2：エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出]

- (1) 大阪都市部に近く交通利便性が高い立地であるにも関わらず、住宅価格や自然環境など、大都市にはない生活しやすいまちであるという大東の魅力や強みを積極的に発信し、子育て世代の定住人口・交流人口・労働人口の増加を図ること。
- (2) 各駅前の整備とあわせて、駅を中心としたまちの回遊性を高めることで、人の移動を円滑化し、市内に活動的な流れを生み出すこと。
- (3) 飯盛城跡や三好長慶などの歴史や文化、豊かな自然など、様々な市の魅力資源を、地域の活力も活用しながら、市内外に積極的にPRすること。
- (4) 老朽化した住宅や空家の対策を図り、大東に住まうことの魅力を一層推進させること。

### [重点項目3：健康寿命の延伸]

- (1) 包括ケアシステムと防災システムとの連携など、他の分野との連携やデジタル手法の活用を図ること。

### [重点項目4：確かな学力の向上と教育環境の充実]

- (1) 教育にかかる保護者の負担軽減と学力向上の双方を実現させる画期的な取組を進めること。

[重点項目 5 : 出産や子育ての安心と魅力の創出]

- (1) ブランドメッセージと連動した子育て施策を多くの人に知ってもらうための発信力を強化することで、大東市の子育て施策に対するイメージや満足度を高め、子育て世代の流入・定住を促すこと。

[重点項目 6 : チャレンジする人と産業の後押し]

- (1) 市内産業の発展に向けては、大東の立地を活かした企業誘致を図ること。
- (2) 市内企業が課題として抱えている、後継者不足や事業継承、従業員の確保・定着の問題に加え、DX を活用した事業展開についても支援を進めること。
- (3) 市内産業の活性化とデジタル人材不足の課題解決に向けて、ものづくり産業と教育機関の集積を活かし、「学生・大学・企業・大東市」の4者の連携を進めること。

[重点項目 7 : 行政サービス改革]

- (1) 財政構造の硬直化の改善に向けた対策を検討すること。